

地域とともに育つ コミュニティ・スクール 学校運営協議会の様子

令和8年3月6日

成田市教育委員会

それぞれの学校でどのような協議がされているのか、紹介いたします。

遠山小学校

今までの取組を振り返り、自己評価を基に学校の課題について、協議が行われました。



●学校評価アンケート結果の考察から、課題や改善に向けての取組について

学校では、授業参観として「なわとび集会」が行われており、学校運営協議会委員の皆さんも、高学年を中心とした全校児童による活動や児童一人一人が活躍の様子を参観し、児童同士の関わり・先生方の関わり・保護者との連携等を把握する場となっております。

また、学校評価アンケート結果を受けて、2学期から、改善策として取り組んだことについて、共通理解が図られました。

- | | | |
|---------|----------------------|-------------------|
| 【学校の取組】 | ○人間関係形成力の育成 | ○道徳科・人権教育・特別活動の充実 |
| | ○食に関する指導授業の実施 | ○若年層を中止とした指導力向上 |
| | ○発達支援的生徒指導力 | ○児童の様子を全職員で共通理解 |
| | ○地域連携(地域人材を活用した学習支援) | ○中学校区の学校間の交流 |

学校評価アンケート結果の考察から、地域人材を活用した学校の取組や先生方が一人一人の児童に寄り添った対応をしていることを、もっと保護者へ知らせていけるとよいという意見が出されました。また、地域づくりを進め、他校との交流を増やすことは大変よいことで、多様な考えを認め、自分の考えを広げられる場が増えるよいという意見も出されました。

三里塚小学校

学校評価アンケートを基に、現状の学校の課題について、協議が行われました。



●学校評価アンケート結果の考察から、課題や改善に向けての取組について

学校では、「6年生送る会」が行われており、学校運営協議会委員の皆さんも、各学年の発表の様子を参観し、これまでの児童の様子から、一年間の学校の取組や子どもたちの成長を見ることができるとよい機会となっております。

学校運営協議会では、学校評価アンケート結果の考察を受けて、今後の改善策について共通理解が図られました。改善策については、一番大事な課題は何か絞って、具体的に取り組んでいける方を共通理解し、PDCAサイクルで改善を図りながら、児童の変容をつかんでいくことが大事ではないかという意見が出されました。また、学校教育目標“夢に向かってがんばる子ども”の実現に向けて、学校や子どもたちの様子を、学校だよりやホームページ、配信システムの活用で伝えているが、保護者へさらに周知して理解してもらためにはどうしたらよいかという課題に対し、「保護者に直接伝える機会があるともっと知ってもらえる」「コミュニケーションを通して思いを伝え合える」等の意見が出されました。

さらに、学校行事の意義を改めて考え直し、精選も含めて、子どもたちのためのよりよい教育活動についても話し合いが行われ、「苦手なことにも挑戦して心を鍛える場の必要性」「学校生活での経験や挑戦が思い出となって残ってほしい」等、子どもたちへの思いを共有する場となっております。